

江教組ニュース

2017 No.11

部内資料

都教組江戸川支部
TEL 3651-3153
FAX 3655-3521



しばらく、お休する内、情勢は激動し、いつの間にやら、総選挙!!
ここで『壊憲』の発議を許すことになったら、暗黒時代の到来へ一気に加速化!!
護憲勢力3分の1以上確保で9条守ろう!!



「壊憲」勢力が3分の2以上を占めたら!

自民・公明・維新・こころ、そして、希望

「これが法の一般原則と言われています。ですから、かりに、9条2項―陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない―この条項を残したとしても、その後、"安保法"に基づいた現在の自衛隊を明記すると2項は完全に空文化してしまいます。海外での武力行使が無制限に認められることになり、この国の形を180度変え、安倍首相がかねてより望んでいた「軍事大国化」へひた走ることになります。

9条に3項を加え、自衛隊を明文化!!したら!!

「後からつくった法は、前の法に優越する」
「これが法の一般原則と言われています。ですから、かりに、9条2項―陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない―この条項を残したとしても、その後、"安保法"に基づいた現在の自衛隊を明記すると2項は完全に空文化してしまいます。海外での武力行使が無制限に認められることになり、この国の形を180度変え、安倍首相がかねてより望んでいた「軍事大国化」へひた走ることになります。

もう、たまされない!!
この国に訪れた大きな分かれ道!!

- ★立憲民主党・共産党・社民党と市民連合の「戦争法」くせ、9条守れ!!」の「市民と野党の共闘」の力でこの勢力を少数に追い込みましょう!!
- ★消費税10%増税ストップ!!国民の生活を守りましょう。
- ★北の脅威に武力で対抗したらどうなるのでしょ? シミュレーションして下さい。それよりも核兵器禁止条約にサインする政府をつくることが必要です。



江戸川区は8月22日教育委員全員の賛成で教育出版の小学校道徳教科書を採択!!

執筆者に「つくる会」系の人物が含まれており、内容には安倍政権がめざす「国家のための人づくり」の方針が色濃くあらわれています。これは教育の政治からの独立性を著しく損なうものです。

「戦後はじめての道徳教科書の検定というところで、各社が不合格を恐れて」「安全運転」をし、同じ題材を多用しています。しかし8社の中で教育出版は、他社と異なる異様な内容が含まれます。

① 二年生で扱っている「国旗・国歌」が他社と比べても異常に大きく偏った取り上げ方をしています。

② 五年生の教材「下町ボスレー」で安倍首相の写真をあえて載せ、また、育鵬社教科書を採択した東大阪市の野田市長の写真も載せています。こちらも掲載する必然性のない写真です。このような形での現役政治家の教科書掲載は、「義務教育諸学校教科用図書検定基準」の「第二章 教科用図書の条件」の(8)に明白に違反し、教育の政治的中立を侵す重大な問題です。

③ 道徳のお手本にするべきとして紹介する人物に、経済界での成功者を多く掲載しています。豊田喜一郎、松下幸之助、本田宗一郎、山葉寅楠などです。検定基準の(7) 特定の営利企業、商品などの宣伝

や非難になる恐れのあるところはないこと」を根拠に、特定企業名の掲載は必ず検定で禁止されてきました(例外は育鵬社公民教科書)。それと矛盾するものであり、検定の恣意性の結果です。

④ 「正しいあいさつのしかた」を1年、2年と続けて掲載。子どもたちの行為、行動を型にはめる規制・強制に至る所に強く出ています。また、「これが正しいおじぎのしかたか」など、戦前の修身と同じようなおじぎをさせる「つげ」・「礼儀」の教材が多く取り入れられています。育鵬社教科書を2011年から採択している武蔵村山市には日本会議啓の教育学者、貝塚茂樹氏が道徳教育の指導に入り、「徳育科」を設けて「つげ」や「礼法」を実施しています。その内容が教科書に盛り込まれています。

安倍教育再生により教育の政治からの独立が著しく破壊されている今、国家の統制教育の流れをくい止めるには自治体の姿勢が重要です。江教組は「江戸川の教育を考える会」とともに、区教委への要請を強化します。

日中戦争が勃発した2ヶ月ほどあと、1937年9月10日の読売新聞夕刊1面には、こんな大きな見出しが踊る。

「国難突破に皇民一致せよ/正に拳国総動員の秋/事変の推移予断を許さず」
「一億総火の玉」→「一億総活躍」
「国難突破」解散

安倍総理の思想的背景が明けて見えてくる。明治維新は結局、藩閥政治。主権がないところからの出発で、「臣民」とされ、軍部の独裁のもと、悲惨な戦争に巻き込まれた国民に責任はない。

しかし、民主主義国家に主権と選挙権を持って出発した戦後の日本で、その権利を自ら捨て、わざわざ「臣民」をめざす人々の姿は奇異である。再び戦前・戦中の「独裁国家」を蘇らせる様な事があったら、日本の未来と子どもたちに私たちも責任を持たなくてはならなくなる。絶対、避けたい!!



9月7日に国語の実践講座があり、38名もの参加で大盛況でした。

文学教材にかける時間が少なくなっている実態もありますが、提案者の渡邊さんの実践は、子どもたちとじっくり時間をかけ、丁寧に取り組んだ授業の報告でした。子どもたちが、楽しく活き活きと物語の学習に取り組んだ様子が伝わってきました。



教材は「お手紙」でした。参加者の感想です！

◆今日の講座で、実際の授業で使える知識が盛りだくさんで「まだまだだ」という反省
と「自分の授業に生かすぞー！」というやる気をいただくことができました。本当に学びは尽きないものだと体と心に感じることができました。

◆本日は、ありがとうございました。先生の教材研究がまず、素晴らしいと感じました。模造紙黒板はぜひ真似させていただきます!!「おてがみの授業で、「詠む」ということはとても大事になると思うので、私も「読み」を深めることの出来る授業になるように、授業の計画をしていけたらなと思います。次もし、特活などの活動について知ることができたら嬉しいです。

◆子供たちが互いに互いの考えを深め合うための材料となるような教師の枠組み作りが大切なのではないかと思われました。その際、「こんな考えを出してもいいのかな」「思うところはあってもいいかな」「思うところはあるけれど表現方法が分からない。」「という子供達に寄り添っていく手立てを、常に考えていかねばならないのだと思われます。(読み聞かせについて、どの程度教師の『読み』をいれていいものか、いつも迷います。)

「原水禁世界大会2017長崎大会に参加して」江教組代表として参加した小川 匠さんからの報告

- ☆大会2日目 動く分科会①佐世保基地見学を中心に
- 分科会の概要
- ①弓張岳から佐世保基地の見学(小高い山から佐世保基地の全容を眺める)
- ②船で佐世保基地を海側から見学する
- ③浦頭引上記念平和公園見学

重要性を高めている。戦時中、今の佐世保基地のある場所は爆撃されていない。市街地には空襲があり、多くの市民が被災している。朝鮮戦争時にアメリカが接収することになるのだが、そのことを戦中から見越していたのではない。朝鮮戦争やヴェトナム戦争では補給基地となり、その後、米世界戦略のもと、アジアでの出撃・補給基地として急速な機能強化が進められてきた。

佐世保の港は、80パーセントが米軍への提供水域となっており、市民が制限なく自由に活用することができない。そして、平坦部の少ない佐世保市の市街化区域の約20パーセントを米軍、海上自衛隊、陸上自衛隊の基地が占めており、都市の発展にとって、重大な障害となっている。

そのカード 使い続けますか?

カード点検運動 実施中!

カードご利用 WEB アンケートのお願い

＜中央ろうきん＞東京地区では、カードの利用状況に関するアンケートを通じ、家計の見直しに繋がる取り組みを進めております。高金利のカードローン等を借換えることにより、繰上返済額が大幅に減少するケースもございます。この機会にカードローン等の残高・金利をご確認いただき、WEBアンケートにご回答ください。まずようお願い申し上げます。

～アンケートはこちらから～

アンケートご回答時に、1300039(会員番号)をご入力ください

☆ アンケートサイトURL ☆ https://www.ena-plus.com/ena/chuo_rokin_tohonbu/314/

☆ QRコード ☆

10月31日(火)までのご回答をお願いします。

※二次元バーコードの読取は、端末機種、印刷状態、読取環境等により、正常な読取ができない場合がございます。

“もったいナイ”を点検してみよう!

<p>点検1</p> <p><input type="checkbox"/> 他行・他社カードローンを利用している</p>	<p>点検2</p> <p><input type="checkbox"/> プレジットカード(ショッピング)を利用している [30日以上のお借入れは1万円以上]</p>	<p>点検3</p> <p><input type="checkbox"/> プレジットカード(キャッシング)を利用している</p>	<p>点検4</p> <p><input type="checkbox"/> 利用しているカードの金利を知らない 気にしたことがない</p>
--	--	---	---

1つでも があつたら…**中央ろうきん** 江戸川支店にご相談ください!

お問い合わせ先 **中央ろうきん** 江戸川支店 TEL: 03-3654-6041 2017年7月25日作成

いっぺんをいかにして興じていくのか、そういうことでしょんがまだ欠けているという点も併せて述べてきた。見学を通して、どんな形であれ、日本国民の税金を直接間接的に「人殺し」に繋げることは許せず、憤りを強く感じた。経済・治安・自治…様々な観点から、やはり基地はいらない、早く地域を本来の姿に戻してしまえと思う。一方で、核兵器廃絶・基地撤退を求めていく運動を推進していくと共に、この国の安全保障の在り方(どこに着地点をもつていくのかという点)を考え直す必要がある。